科目名	統計学Ⅱ　　Statistics II						
科目担当者	山梨 顕友　　YAMANASHI Akitomo						
単位数	2	**配当年次**	1年	**授業形態**	講義	**開講学期**	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　基礎専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					**ディプロマポリシーとの関連**	(1)(4)
授業の概要	統計データから法則性を読み取ったり、導かれた法則性がもっともらしいかどうかを客観的に評価したりすることを考えましょう。そのような目的のために統計学ではさまざまな確率分布が使われます。この授業ではその中でｔ分布と呼ばれる確率分布に注目して、法則性の推定・検定のために活用する手法を学ぶことにしましょう。						
授業の到達目標	①　どのような観測対象から得られるデータがｔ分布に従う確率分布をとるか理解する。 ②　ｔ分布を用いてさまざまな推定を行う手法を理解する。 ③　ｔ分布を用いてさまざまな検定を行う手法を理解する。						

授業計画・内容		
	1	さまざまな確率分布
	2	中心極限定理
	3	標準正規分布と数表
	4	ｔ分布と数表
	5	母集団と標本
	6	母集団の区間推定
	7	母比率の区間推定
	8	仮説の検定
	9	母平均の検定
	10	母比率の検定
	11	2つの母平均の差の検定
	12	2つの母比率の差の検定
	13	χ^2分布
	14	χ^2分布を用いた推定
	15	講義の内容復習

授業外学修 (事前学修)	身の回りの出来事について実際に統計の実験や観測を行ってもらう予定ですので、日頃から適当な対象がないものか考えておいてください。（2時間程度）
授業外学修 (事後学修)	統計情報を図表と対応付けるように授業の内容を復習しましょう。細かい数式が分からなくても図表で考えられるようになれば何とかなると思います。（2時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 （ただし一部は課題提出で代替可）	100%	①、②、③

成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合
教科書	石村光資郎『身近な事例で学ぶやさしい統計学』オーム社
参考文献	
その他	基礎的な数学計算について練習を行うことが望ましい学生には、併せて数学ステップアップ講座の受講をお勧めします。